

中白ニユース

シネスコ版

No. 527

3P. 2. 2 /

一、またもデパート炎上

—東京

二月十三日午後三時半頃、東京の下真ん中にある定休日の「松屋デパート銀座店」五階書籍売場付近から出火。この為、東京消防庁は直ちに「第三出動」を指令、ポンプ車十七台を始め、ハシゴ車、排煙車など六十二台を出動させて消火作業に当りました。

しかしこの建物は、高層建物に見られる「窓」の少ない建物、その上、今売場拡張工事の危険防止用シートが邪魔して思うように消火作業を進められない情況。

店内は煙が充満、殆んど手さぐり状態で消火作業。駆けつけた店員達も必死です。夜になっても火勢は衰えず四千平方メートルを焼いてしまったのです。それにしても五階から六階、七階へと燃え広がったのは五階の降りていた筈のシャッターが火熱で故障、自然にあがってしまったことが判明しました。このような高層建築の火災にはもっともっと考えねばならないことが多いようです。

一、現代に生きる清らかな流れのように

—父母招待旅行

今年も五十四万人近い中学生が社会へ巣立ってゆきます。

しかし、その中には新しい生活に耐えきれず落伍してゆく者も多く、近頃問題のおおい集団就職です。

だがここに青森県八戸の是川中学出身の在京者グループ「清流会」の若者たちが自分の預金したお金で、まだ一度も東京を見たことのない両親に東京見物に招待しようという、明るい話があるのです。

これは中学を卒業したばかりで遠く故郷をはなれた若者たちの、新しい生活のよりどころとして、たがいにはげましあおうと、会をつくったのがはじまりで、そしてこのほど両親や、兄弟を東京に招待しようということになったのです。

そうして都会という重圧に雑草のように強く生きぬこうとする若者たちは、父兄の東京招待をきっかけに、よりいっそうよりいっせいはげましあおうとちかかったのです。

新巻) = 2-ス No 362

中口 = 2-ス No 203

新巻) = 2-ス No 190

64/02

408

140